


平成21年度 食品中異物検査(昆虫類)のまとめ

医動物担当では、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等の依頼を受け、昆虫類を中心とした食品中異物検査を行っています。平成21年度の検査実績は、13件15検体でした。

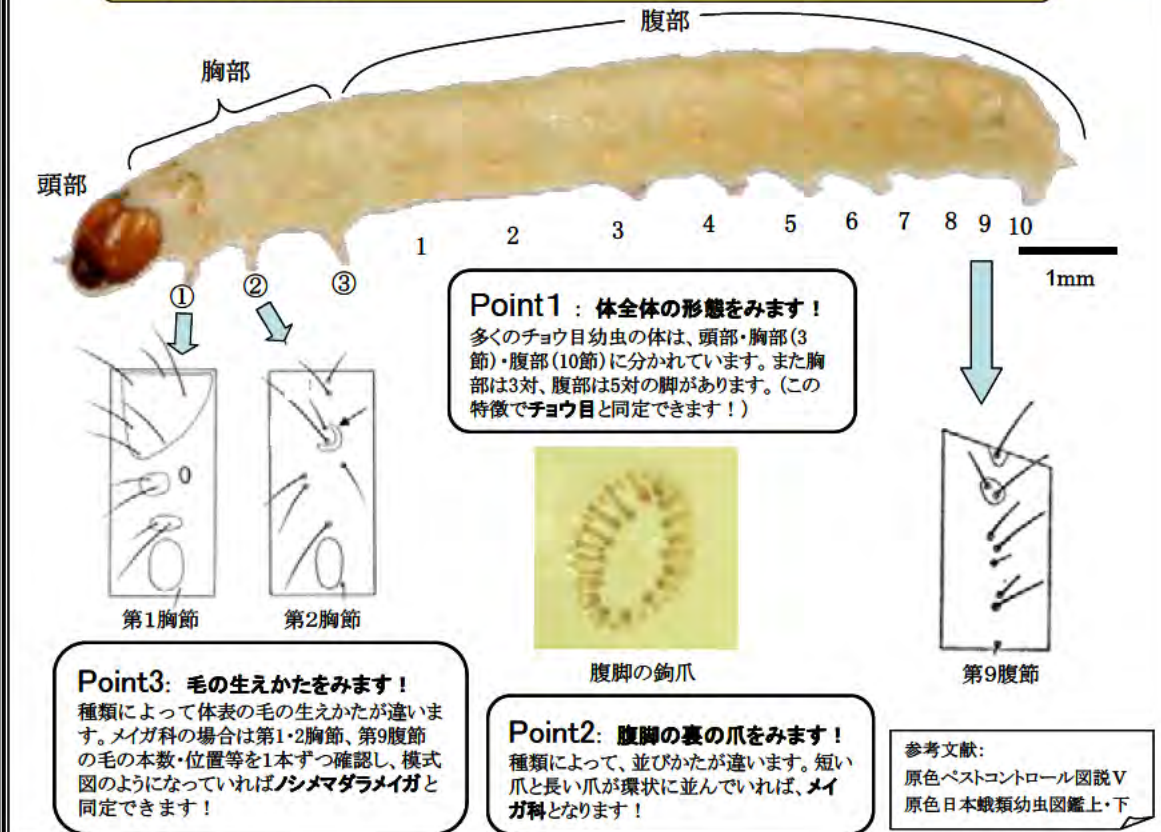
依頼された15検体のうち昆虫類は13検体で、上位3目は、コウチュウ目(5検体)、チョウ目(4検体)、ハエ目(2検体)でした。今回は、同定結果の詳細を報告します。

食品名	苦情内容	異物写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態その他
はいが食パン	はいが食パン(給食)に虫がいるのを発見した。		タバコシバンムシ (コウチュウ目 シバンムシ科)	成虫の体長は2~3mm。パン、ビスケット、ココアなど多くの乾燥食品を加害する代表的な食品害虫である。
		成虫、茶褐色、約2.5mm		
パセリ	惣菜に添えられていたパセリに虫がついていた。		ハエ類 (ハエ目)	ハエ類には非常に多くの種が含まれる。生ゴミ、排水管や下水、動物の糞などあらゆる動植物質から発生する。
		幼虫、乳白色、約5mm		
缶ビール	缶ビールを飲んでいたところ、虫が出てきた。		ゴキブリ類 (ゴキブリ目)	屋内で見られるゴキブリは雑食性で、植物性、動物性の食品はたいてい食べる。成虫幼虫ともに日中は屋内の潜伏場所で過ごし、夜になると餌と水を求めて活動する。
		幼虫、茶褐色、約13mm		
米	米の中に入っていた。		チョウ目(ガ) の一種	成虫の体翅は細かい鱗片で覆われる。食品を加害するのは、主に幼虫である。生活様式は多様で、一般的には植物や乾燥動植物食品などを食害する。
		成虫、茶褐色、約5mm		
ハーブティ	ハーブティ(茶葉)に虫が混入していた。		ゾウムシ科 の一種 (コウチュウ目)	体は小型から中型で、多くは卵形から長楕円形で厚みがある。口部は吻状に長くのびる。成虫、幼虫ともにほとんどが植食性である。食性は種類によって異なる。
		成虫、茶褐色・斑模様、約12mm		

食品名	苦情内容	異物写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態その他
肉まん	肉まんに小さな虫が付着していた。		マドチャタテ科 の一種 (チャタテムシ目)	初夏から秋にかけて発生する。平地のやや湿潤な樹幹などで生活する種や、各種の植物の葉裏に生ずるカビ類を食べる種、家屋内から発生する種などがある。
		成虫、褐色、約1.5mm		
生うに	生うにの中に幼虫が混入していた。		オオクロバエ (ハエ目 クロバエ科)	成虫の体長は約10～15mm、終齢幼虫は約20mmである。幼虫は動物死体、厨芥、汲み取り便所などから発生する。全国に分布する普通種である。
		幼虫、乳白色、約14mm		
ローズヒップ ハーブティ	ローズヒップハーブティの中に幼虫が入っていた。		チョウ目(ガ) の一種	食品を加害するのは、主に幼虫である。生活様式は多様で、一般的には植物や乾燥動植物食品などを食害する。
		幼虫、乳白色、約6mm		
白いんげん豆	白いんげん豆に甲虫が混入していた。		インゲン マメゾウムシ (コウチュウ目 マメゾウムシ科)	成虫の体長は約3～4mm。貯蔵インゲンの害虫。成虫は卵を豆粒表面に産みつけず、豆粒の隙間に産卵する。孵化幼虫は歩行して豆粒内に侵入する。世界共通種。
		成虫、褐色・斑模様、約4mm		
干しいちじく	干しいちじくに虫が混入していた。		ノシメ マダラメイガ (チョウ目メイガ科)	終齢幼虫の体長は約10mm。幼虫は穀物、ナッツ、チョコレート、乾燥果実、豆菓子など多くの貯蔵食品、乾燥食品を食害する。
		幼虫・蛹脱皮殻、茶褐色、6～7mm		
			タバコ シバンムシ (コウチュウ目 シバンムシ科)	成虫の体長は2～3mm。パン、ビスケット、ココアなど多くの乾燥食品を加害する代表的な食品害虫である。
		成虫、茶褐色、約2mm		

食品名	苦情内容	異物写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態その他
ミルクココア	ココアに幼虫が混入していた。		タバコシバンムシ (コウチュウ目 シバンムシ科)	幼虫の体長は約3.5mm。食品を加害するのは幼虫のみで、パン、ビスケット、ココアなど、多くの乾燥食品を加害する代表的な食品害虫である。
幼虫、乳白色、約3.5mm				
ボイル ホタルイカ	ボイルホタルイカに混入していた。		コウラナメクジ科 の一種 (マキガイ綱 マイマイ目)	家屋の内外、畑、山林など生息地は広い。おおむね夜行性で、日中はあまり活動しない。食物は植物や枯木など広範囲に及び、野菜類の害虫となる。
茶褐色、約25mm				
野菜炒め	飲食店内で野菜炒めを口に入れたところ、爪のような異物が入っていた。		昆虫類の脱皮殻や人の爪など、生物由来物質ではなかった。 (プラスチックと推定)	
白色透明、約7mm				

ノシメマダラメイガ幼虫の同定はこんなところを見えています！
(チョウ目メイガ科)



Point1: 体全体の形態をみます!
多くのチョウ目幼虫の体は、頭部・胸部(3節)・腹部(10節)に分かれています。また胸部は3対、腹部は5対の脚があります。(この特徴でチョウ目と同定できます!)

Point2: 腹脚の裏の爪をみます!
種類によって、並びかたが違います。短い爪と長い爪が環状に並んでいれば、**メイガ科**となります!

Point3: 毛の生えかたをみます!
種類によって体表の毛の生えかたが違います。メイガ科の場合は第1・2胸節、第9腹節の毛の本数・位置等を1本ずつ確認し、模式図のようになっていれば**ノシメマダラメイガ**と同定できます!

参考文献:
原色ペストコントロール図説V
原色日本蛾類幼虫図鑑上・下

【医動物担当】